



『協働者の国・集団・共生が支える持続可能な社会』

微生物の個・集団・ 共生が支える 持続可能な社会

【日時】

2020年2月10日(月)13:00 - 17:00

【場所】

つくば国際会議場中ホール(200)

〒305-0032

茨城県つくば市竹園2丁目20番3号

【概要】

つくば地域の微生物関連の3大型研究拠点を、筑波大学微生物サステナビリティ研究センターの下に集結させ、微生物の個、集団、共生の先端研究の切り口から、SDGsに向けた環境、食、健康分野の諸課題を解決するための微生物研究と産業創出のあるべき姿を議論する。

【事前登録】

事前登録受付はQRコードから行ってください。

申し込み期限：2020年2月5日(水)



【問い合わせ先】

微生物サステナビリティ研究センター事務局 小川
admin.mics@un.tsukuba.ac.jp
029-853-4924

主催：筑波大学微生物サステナビリティ研究センター(MiCS)
共催：科学技術振興機構(該当事業：ERATO 野村集団微生物制御プロジェクト、ERATO 深津共生進化機構プロジェクト)、
新学術領域・ポストコッホ生態研究拠点
後援：茨城県、つくば市、TIA

12:30 受付開始

13:00 開会

挨拶 永田恭介(筑波大学学長)

来賓挨拶 大濱隆司(科学技術振興機構 研究プロジェクト推進部 部長)

来賓挨拶 飯塚一政(茨城県産業戦略部 技術振興局長)

【基調講演】

13:20

「健康ビッグデータをベースとした『寿命革命』エコシステム構築戦略ー産学官民一体型持続的健康オープンイノベーションPF構築をめざしてー」

村下公一：弘前大学 COI 研究推進機構(健康未来イノベーションセンター) / COI 副拠点長・教授

【講演】

14:00

「もう1つの臓器、腸内細菌叢の機能に迫る」

福田真嗣：筑波大学 微生物サステナビリティ研究センター(MiCS)

慶應義塾大学先端生命科学研究所・特任教授 / 筑波大学医学医療系客員教授 / JST ERATO 深津共生進化機構プロジェクト副研究総括 / 神奈川県立産業技術総合研究所・グループリーダー / (株)メタジェン代表取締役社長 CEO

14:30 休憩

14:50

「共生進化の究極の理解をめざして」

深津武馬：筑波大学 微生物サステナビリティ研究センター(MiCS)

産業技術総合研究所生物プロセス研究部門・首席研究員 / 筑波大学生命環境系・教授 / 東京大学大学院理学系研究科・教授 / JST ERATO 深津共生進化機構プロジェクト研究総括

15:20

「集団微生物学と革新的微生物制御

-サイエンスとテクノロジーの双輪-

野村暢彦：筑波大学 微生物サステナビリティ研究センター(MiCS) 副センター長

筑波大学生命環境系・教授 / JST ERATO 野村集団微生物制御プロジェクト研究総括

15:50

「ポストコッホ微生物～個の微生物の可能性」

高谷直樹：筑波大学 微生物サステナビリティ研究センター(MiCS) センター長

筑波大学生命環境系・教授 / 科研費新学術領域「ポストコッホ生態」領域代表

【総合討論・パネルディスカッション】

16:20

【ファシリテーター】

野村暢彦：筑波大学 微生物サステナビリティ研究センター(MiCS) 副センター長

筑波大学生命環境系・教授 / JST ERATO 野村集団微生物制御プロジェクト研究総括

【パネリスト】

村下公一：弘前大学 COI 研究推進機構(健康未来イノベーションセンター) / COI 副拠点長・教授

桂木能久：花王株式会社 ヘルス&ウェルネス研究所所長

金保安則：筑波大学 副学長(産学連携担当)

福田真嗣：筑波大学 微生物サステナビリティ研究センター(MiCS)

慶應義塾大学先端生命科学研究所・特任教授 / 筑波大学医学医療系客員教授 / JST ERATO 深津共生進化機構プロジェクト副研究総括 / 神奈川県立産業技術総合研究所・グループリーダー / (株)メタジェン代表取締役社長 CEO

高谷直樹：筑波大学 微生物サステナビリティ研究センター(MiCS) センター長

筑波大学生命環境系・教授 / 科研費新学術領域「ポストコッホ生態」領域代表

17:00 閉会

17:30 交流会(参加費3000円)

会場：つくば国際会議場内レストラン